

成人向  
Adult Only



合法

口教師は  
発情中!?

私の名前は  
ロキシミーグルディア  
これでもA級冒険者です

路銀が寂しく  
なっていた所

運良く領主の息子の  
家庭教師の仕事に  
あたりました

ただその子は  
どう見ても魔術を使う  
ような年齢では  
ありませんでしたが  
背に腹は代えられません  
お金は大事なんです





ですがそれが  
杞憂だと知るのは  
すぐでした

ルーデウスには  
確かな才能があつた  
からです



いえ——  
正確にはあり過ぎた  
：ですね

その分  
いやらしさの才能も  
凄そうですが



夜が煩くて  
眠れない事を  
除いてはですが

教え子もパウロ家も  
文句の付けようのない  
やりの付くのある職場：  
なのですが

ただ一点——

初日は私に  
気を使っ  
たのか  
静かだっ  
たのか  
ですが……

二日目  
三日目と続くうち

クンクン  
ハッハッ  
クンクン  
ハッハッ  
クンクン  
ハッハッ  
クンクン  
ハッハッ

どんだん大胆に  
声が大きくなつていき  
比列して私の睡眠時間が  
少なくなつていきました





お二人の声の  
おかげですっかり  
欲求不満です

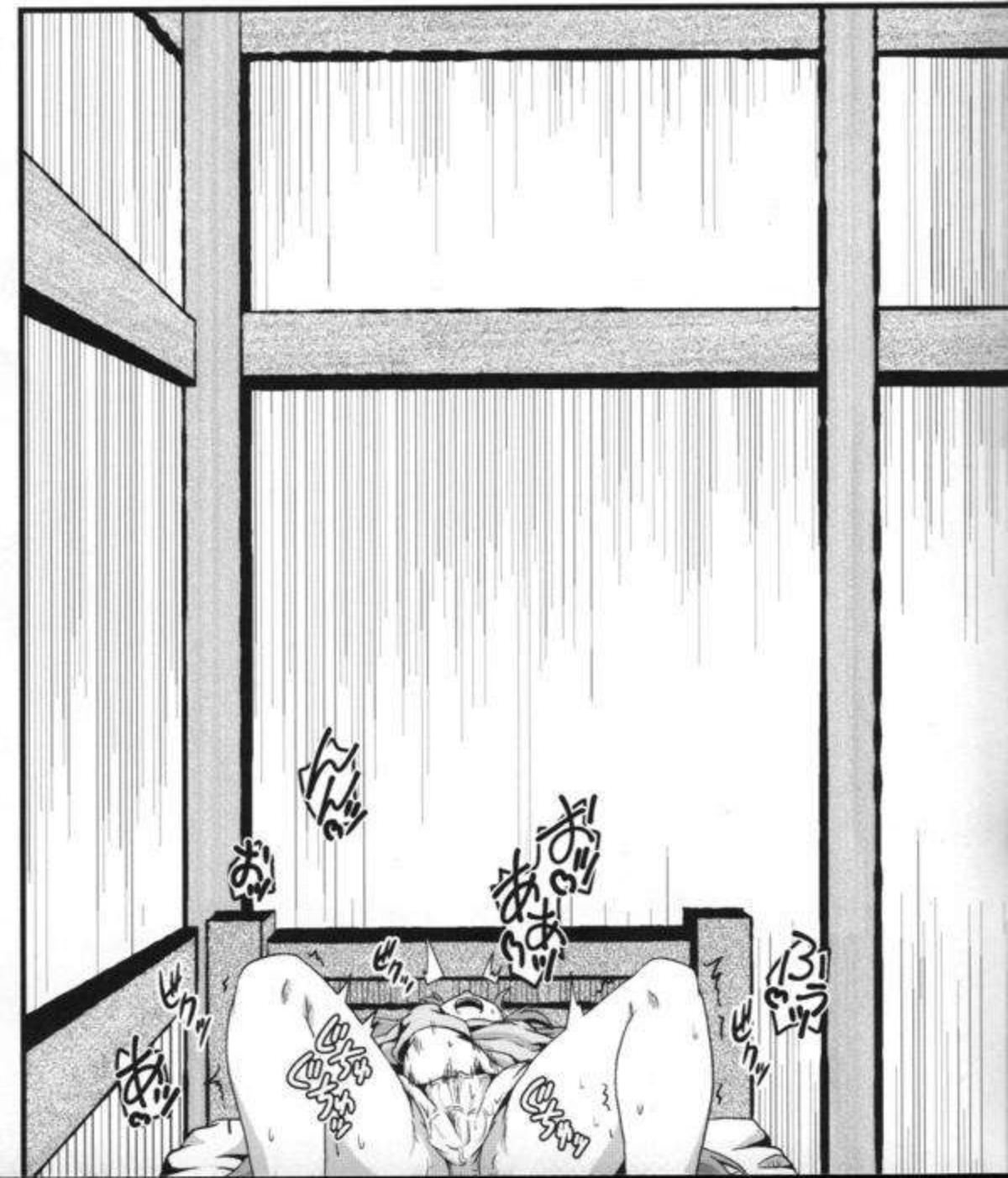


見た目はともかく  
これでも大人



とはいえ相手も  
いませんし：  
一人で解消するしか  
ありません

だから性欲も  
人並みにあります





流石に毎日はやり過ぎなので  
は?!

ああ…あんなに  
恥ずしく自分から…ッ

お二人の情事を見て  
いたら忘れかけていた  
昔の記憶が甦って  
きました

ミス神聖国という  
魔族への差別意識の強い  
国に立ち寄った時の話です

あれは——そう  
私が生まれた村を  
飛び出し旅をしていた頃

あつという間に  
路銀は減って  
いきました

魔族というだけで  
ギルドでさえ  
まともに仕事を  
斡旋してもらえず

そんな場所で魔族の  
私がお金を稼ぐには：  
身体を売るしか方法が  
なかったんです

お願いしま…あッ  
わ私を…買っ  
て下さい!!

かあ  
ああ

せろろ





ですがミリス教では  
魔族との性行為は  
固く禁じられていて

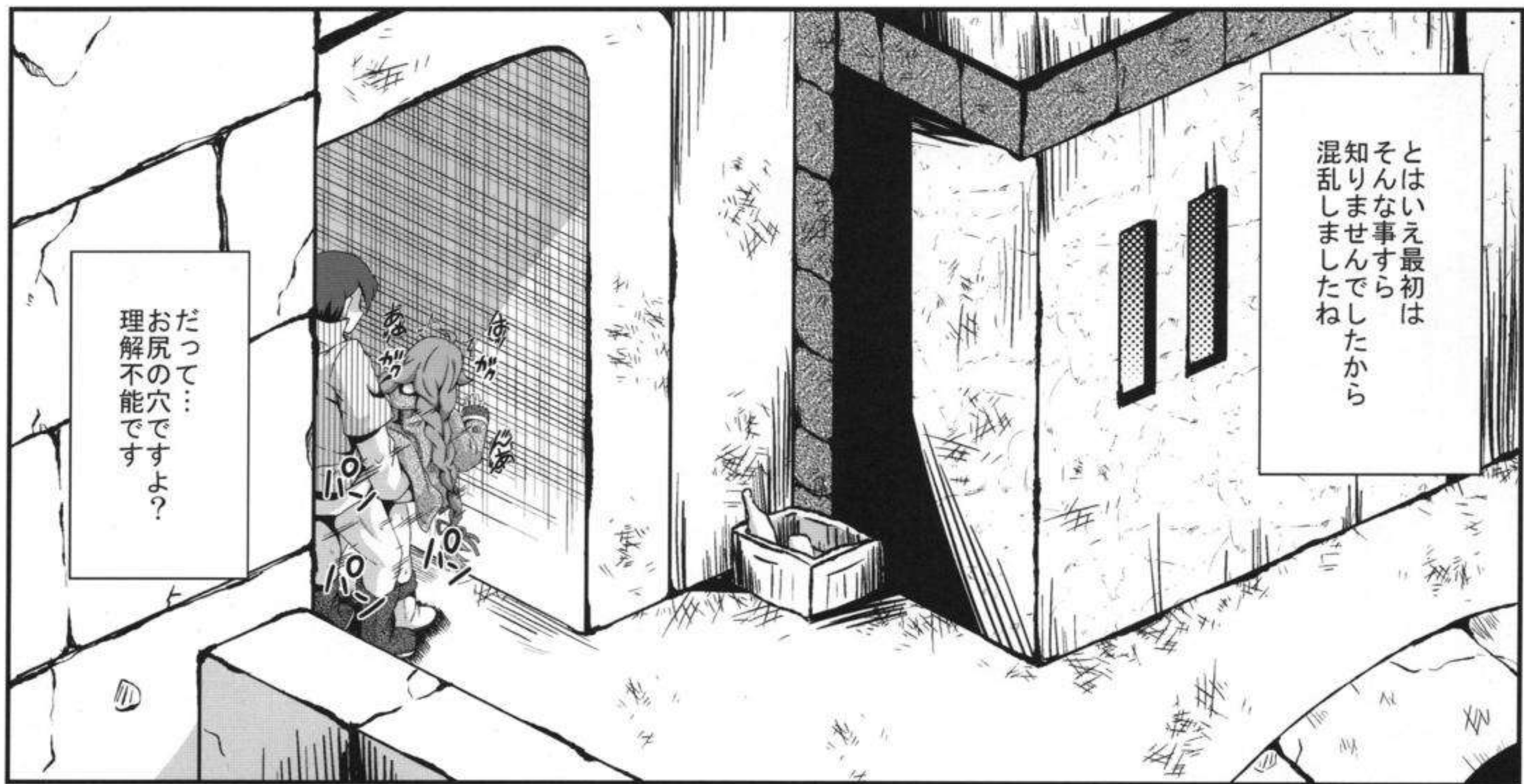
穢れた魔族め！

ミリス信者を誑かす  
悪しき穴を聖棒で  
清めてやるぞお！！

その唯一の抜け道が  
罰を与えるという名目で  
お尻の穴を使うのが  
この国での常識——

かっ  
かっ  
まっ  
まっ

まっ  
まっ  
かっ  
かっ  
まっ  
まっ



とはいえ最初は  
そんな事すら  
知りませんでしたから  
混乱しましたね

だって…  
お尻の穴ですよ？  
理解不能です



ほら  
魔族にはコレで  
十分だろう

その時の私が理解出来たのは  
男の精液の熱さと身体を  
売ったという罪悪感

そして気持ち良かった  
という事でした




それならいっそ  
処女を捨ててしまえば  
治まるのでは？


そう考えた私は  
相手を探しに村へ  
繰り出す事にしました




昔を思い出してしま  
より悶々とした日々を  
過ごしていると  
雇い主や生徒と間違いを  
起こしてしまいかもと  
怖くなりました




とは言っても  
やはり初めての相手  
ある程度は容姿が  
整っていた方が――



多くは求めませんが  
伴侶のおられる方は  
問題ですし――



何より教師が村で  
淫らな行為をしたと  
広まるのが一番  
不味いですし――



そんな事を考えながら  
歩いていたら  
村外れまで来て  
しまっていました

すると茂みの  
奥から妙な声が…？

なので相手は  
口が堅い方が：  
いっそ弱みを握って  
しまった方が――

？



ああッ!?  
魔族のお前と  
遊んでやってんだぞ!!

ごごも…ッ

お前の親が独りぼっちの  
お前を心配して泣くのが  
嫌だからって仕方なく  
相手してやってんだろ!?

もう…  
ツプツプ…は  
しない…で…

お願い…  
しまあ…ッ

そうだそうだ!  
構ってやってるだけ  
ありがたく思えよ!

うん…

グダグダ  
言っていないで…ッ

黙って俺達を  
気持ち良くする事だけ  
考えればいいんだよ!!

お

俺達以外  
村中探したって魔族の  
お前なんかと友達に  
なってくれる奴なんか  
いないんだぞ!?

感謝して  
俺達に尽くせよ!

うん...  
そう...だよね...  
ありがとう...  
●

うん...

アッ

びるびる

お30

びるびる

カッポッ

カッポッ

びるびる

びるびる

びるびる

びるびる

びるびる

びるびる

びるびる

びるびる



おら！  
もつと舌を  
使えよ！！

おう

—なんです  
アレは!?

おおッ



助けなければと  
思いながらも無意識に  
手が股間を弄りだし…  
見入ってしまったました

おっ  
おっ  
おっ



は  
は

ドキ  
ドキ  
ドキ

は  
は

もど  
もど

ルーデウス  
教え子と変わらない  
年齢の少年達が女の子を  
犯すというその光景に…

こんな事を  
している場合じゃ  
ないのに――

頭ではそう思っ  
ていても  
目は彼らに釘  
付けになり  
身体は動きま  
せんでした

ああ…  
あんな事まで…ッ

ここ…ここ…  
ここからぞこ

ヤバ…ッ  
見られた!?

チ…ッ  
あいつも襲って  
言う事聞かせるぞ!!

ですが…罰が  
当たったんでし  
ょう  
前のめりにな  
り過ぎて  
見つかってしま  
いました

魔術を使えば  
振り払えますが  
相手は子供

おい！  
俺が押さえてる  
うちに入れちまえ！！

かあああ

分かってるッ  
焦らせんなよ！

突っ伏して体勢の  
崩れた私は簡単に  
彼らに組み伏せられて  
しまいました

子供を傷付けるなんて事は  
大人として出来ません

奥まで  
挿入ったぞ！！

だから彼らの  
なすがままになっても…  
仕方がない事ですよ？

みぎゅ

みぎゅ

みぎゅ

みぎゅ

せげ

せげ

あ

アッ





それにモノも  
小さいから痛みも  
少ないですし…



パウロさん達とは違う  
技術も何もない  
力任せに腰を打ち付ける  
けれど…  
そんな拙い感じが  
むしろ…ツ



小さいから  
色んな場所を  
こすり上げてきて  
それが堪らなく…ツ



あ…えッ!?



…



い…くッ  
もう…いっ♡  
ます…ッ♡  
♡ちやい



びくびく

…ッ

だって抜いてから  
見てるじゃないか  
本当は俺達と  
したいんだろ?



お姉さん…今  
感じてたよね?

てかこういうの  
大好きなんでしょ?

な…ッ  
そんなん訳—

ドキッ



ぽた

シルフィ  
アイツの事黙ってて  
くれるって約束するなら  
俺たち全員でチンコ  
入れてあげるよ

どうする  
お姉さん?

ぽた

その言葉に…私の中で  
何かが外れるような音が  
しました





……はあ!?

…へーッ  
それ面白そうだな!!

おい!  
お前も力を貸せ!!  
ココにもう一本  
突っ込んでやるんだッ



ちよ…ッ  
待ちなさい!



流石に  
二本なんて無—

せま…ッ  
スゴ…ッ

きうわ…ッ



お俺もだッ  
もう…射精る!!

なん…だ  
コレ!?

こんな気持ち  
良いの  
初めてだッ!!

あーあーあー  
あーあーあー

こうして…この日から  
村の散策が私の『日課』に  
加わったのでした♥

## ～奥付～

発行日 2021年 05月02日  
発行者 かめぼてる  
作画 戌月シロウ  
連絡先 kamepotel@gmail.com  
ホームページ <http://kamepotel.blog113.fc2.com/>  
印刷所 (有)ねこのしっぽ

- ※ 本誌は十八歳未満の方への販売・閲覧をご遠慮させて頂いています。
- ※ 本誌掲載の記事、図版・図柄等の無断転載、複写等の行為は禁止しています。又、本誌のインターネット上へのアップロードも禁止させて頂いています。
- ※ 無断でネットにUPするのは窃盗と同じです。軽い気持ちでする、その行為は作者に多大な迷惑が掛かります。もし発見した場合、適切な対処を取らせて貰う事があります。御注意ください。